

※ ( ) 内は、平成27年下期版において、設問に関するテキストを掲載している項目です。  
[ ] 内は、平成27年下期版において、類似問題を掲載しているページです。

## 平成27年10月公表 2級ボイラー技士試験問題 解説

### ■ ボイラーの構造に関する知識 [第1章]

問 1 (5 熱及び蒸気/23P)。 ※平成28年上期版に追加内容掲載予定。

問 2 (1 ボイラーの概要/4P) 参照。

1. [7P【4】1]

2～5. [7P【3】2～5]

問 3 (7 ボイラー各部の構造と強さ/31P) 参照。

1～5. [36P【3】1～5]

問 4 (12 附属品等(各種装置)/56P) 参照。

1～4. [60P【5】1～4]

問 5 (8 附属品等(計測器)/38P) 参照。

2. [42P【3】2]

3&5. [41P【2】3&5]

4. [42P【4】5]

問 6 (11 附属品等(給水系統装置)/51P) 参照。

1. [54P【5】2]

2&3&5. [52P【1】2&3&5]

4. [53P【3】5]

問 7 (3 水管ボイラー/12P) 参照。 ※平成28年上期版に追加内容掲載予定。

1. [15P【3】5]

3. 細い管内で給水のほとんどが蒸発してしまうため、十分な処理を行った給水を使用しなければならない。

問 8 (2 丸ボイラー/9P) 参照。

1&2&4 [11P【2】1&2&3]

問 9 (15 ボイラーの自動制御(各部の制御)/68P) 参照。 ※平成28年上期版に追加内容掲載予定。

4. 水位検出器の水側連絡管は、呼び径20A以上の管を使用する。

問 10 (15 ボイラーの自動制御(各部の制御)/68P) 参照。

1～4. [75P【6】1～4]

このデータは、資格出版株式会社の著作物です。  
再配布等は禁じております。

資格出版株式会社

## ■ ボイラーの取扱いに関する知識 [第2章]

- 問 11 (10 附属品等の取扱い(吹出し装置)/109P) 参照。 ※平成28年上期版に追加内容掲載予定。
2. 鋳鉄製蒸気ボイラーは、ボイラー水を循環使用しているためスラッジの生成が少なく、本来吹出しは不要。ボイラー水の一部を入れ替える場合は、燃焼をしばらく停止しているときに吹出しを行う。
  - 3&4. [110P【1】2&5]
  5. [110P【2】4]
- 問 12 (12 附属品等の取扱い(自動制御装置)/116P) 参照。
1. [117P【2】4]
  - 2~5. [117P【3】2~5]
- 問 13 (5 運転操作(キャリオーバー対策)/93P) 参照。
- 1~5. [94P【2】1~5]
- 問 14 (4 運転操作(水位異常対策)/90P) 参照。
- 2~5. [91P【1】2~4&1]
- 問 15 (3 運転操作(運転中の取扱い)/86P) 参照。 ※平成28年上期版に追加内容掲載予定。
- 3&5. [89P【5】2&5]
- 問 16 (14 水管理(不純物等)/124P) 参照。
- 1~4. [126P【1】1~4]
  5. [127P【2】3]
- 問 17 (16 水管理(清缶剤)/133P) 参照。
- 1&2&4&5. [134P【1】1&2&4&5]
- 問 18 (18 ボイラーの保全/119P) 参照。
1. 酸洗浄には、酸を使用する。
  - 2~4. [121P【3】2~4]
  5. [122P【5】5]
- 問 19 (11 運転操作(点火前と点火時)/80P) 参照。 ※平成28年上期版に追加内容掲載予定。
4. 水位検出器の機能試験は、水位を上下して機能を試験し、設定された水位の上限及び下限において正確に給水ポンプの起動や停止又は調節弁の開閉が行われることを確認する。
- 問 20 (15 水管理(補給水処理)/130P) 参照。
- 1~5. [132P【3】1~5]

このデータは、資格出版株式会社の著作物です。  
再配布等は禁じております。

資格出版株式会社

Copyright © 2016 資格出版株式会社 All Rights Reserved

■ 燃料及び燃焼に関する知識 [第3章]

問 21 (1 燃料概論/138P) 参照。

1～5. [139P【2】1～5]

問 22 (2 重油の性質(1)/141P) 参照。

1～4. [141P【1】1～4]

5. [143P【6】4]

問 23 (3 重油の加熱/158P) 参照。

1&2. [158P【1】1&2]

5. 加熱温度が高すぎると、バーナ管内でベーパーロックを起こす。

問 24 (5 固体燃料/151P) 参照。

1&2&5. [151P【1】4&3&5]

問 25 (4 気体燃料/147P) 参照。

1. [148P【1】1]

2～5. [148P【2】2～5]

問 26 (9 重油ボイラーの低温腐食/160P) 参照。

1&4&5. [161P【1】1&2&5]

2&3. [161P【2】2&4]

問 27 (15 固体燃料の燃焼方式/175P) 参照。

1～3&5. [176P【1】1～3&5]

4. [176P【3】5]

問 28 (11 重油バーナ/164P) 参照。

1～5. [167P【5】1～5]

問 29 (20 通風/185P) 参照。

このデータは、資格出版株式会社の著作物です。  
再配布等は禁じております。

1～5. [187P【1】1～5]

問 30 (16 大気汚染物質/177P) 参照。

1&2. [177P【1】2&3]

3. [178P【2】4]

4. ダストは、灰分が主体である。

5. [178P【3】2]

資格出版株式会社

Copyright (C) 2015 資格出版株式会社 All Rights Reserved.

■ 関係法令 [第4章]

問 31 (11 ボイラーの伝熱面積/194P) 参照。

1～5. [195P【4】1～5]

問 32 (13 変更の手続き/202P) 参照。

問 33 (12 各種検査/196P) 参照。

1 & 3～5. [201P【9】1 & 3～5]

2. [198P【1】2]

問 34 (12 鑄鉄製ボイラーの構造規格/231P) 参照。

1～5. [231P【2】1～5]

問 35 (10 安全弁の構造規格/222P) 参照。

1～5. [223P【2】1～5]

問 36 (14 ボイラー室の基準/205P) 参照。

1～4. [206P【1】1～4]

問 37 (17 附属品の管理/214P) 参照。

1. [215P【2】1]

2 & 4 & 5. [215P【1】2 & 4 & 5]

3. [216P【3】3]

問 38 (18 ボイラーの定期自主検査等/218P) 参照。

1～3 & 5. [219P【1】1～3 & 5]

4. 燃焼装置の煙道については、漏れその他の損傷の有無及び通風圧の異常の有無について点検しなければならない。

問 39 (10 圧力計等の構造規格/225P) 参照。

問 40 (18 ボイラーの定期自主検査等/218P) 参照。

1～5. [221P【6】1～5]

資格出版株式会社

Copyright (C) 2015 資格出版株式会社 All Rights Reserved.